

平成 26 年 12 月 24 日

お客様各位

東京都千代田区神田錦町 3-7-1
日産化学工業株式会社
経営企画部

週刊プレイボーイ 11 月 24 日号の総力特集 P12
『世界の大事件を“陰謀論”で説明してみた』の記事について

平素は弊社ラウンドアップマックスロード製品をご愛顧くださり誠にありがとうございます。

さて、平成 26 年 11 月 24 日付の週刊プレイボーイ総力特集 P12 に掲載された「世界の大事件を“陰謀説”で説明してみた」の記事において、ラウンドアップの安全性に誤解・懸念を生じ、弊社は看過できないと判断し、下記の通り株式会社集英社に対して抗議をいたしました。

その後、株式会社集英社より「その記述をあたかも事実であると誤解される恐れがあるとすれば編集部としても本意ではございません」との回答を受け、週刊プレイボーイ誌 52 号(12 月 25 日発売)次号予告ページに《訂正》が掲載されたことをご報告申し上げます。掲載された訂正文につきましては、次ページ以降をご覧ください。

ラウンドアップ(グリホサート)は、米国環境保護庁(EPA)、世界保健機関(WHO)よりの評価で、その安全性の高さが述べられております。また、日本、米国、欧州各国をはじめとする多くの国々で、安全性に関するデータが厳正に審査された上で登録認可を受けております。

お客様におかれましては、引き続き安心してご使用頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

当該記事中において『(中略) ベトナム戦争のために化学兵器の枯葉剤を製造していたが、終戦後は余った在庫を農業向けに転用した。それがラウンドアップである。』との内容が掲載され、あたかもラウンドアップがベトナム戦争で枯葉剤として使用されたかのような表現となっておりますが、枯葉剤(エージェントオレンジ)とラウンドアップは成分が全く異なります。日本における農林水産省の登録認可(農林水産省登録)にはその有効成分の製造方法、製造場所、不純物成分及びその含有率などを厳密に規定されております。また、不純物も含め安全性が確保できるよう安全性試験も実施されております。

また、『ラウンドアップを使うと土に残留し、そこには来年もモンサントの種しかまけない。』の記述につきましても、雑草の茎葉にかからずに土に落ちた成分は、速やかに土の粒子に吸着し、その後微生物により分解されます。そのため、処理後に特定の種しかまけないといった事実はありません。ラベルの記載事項を順守していただければ、安全にご使用いただけます。

以上

《訂正》

本誌 47 号『世界の大事件を“陰謀論”で説明してみた』の『陰謀論 9』記事中に、あたかも現在販売されている除草剤ラウンドアップがベトナム戦争で枯葉剤として使用されていたかのような印象を与えかねない記述、および同除草剤使用後の土壌には特定の種しかまけないとする記述がありますが、同記述は、根拠不明な“陰謀論”の一部として紹介したものであり、いずれもそのような事実は認められていません。